

平成 30 年度津地区医師会事業報告

2025 年に向けて地域包括ケアシステムの構築が迫られ、「かかりつけ医」の役割と多職種との連携が重要となっています。このことを受けて、久居一志地区医師会館内に平成 29 年度に「津市在宅療養支援センター」を開設し、医療・介護資源のマップ化やインターネットによる情報提供、「津市在宅療養あんしんブック」の全戸配布、在宅で療養する市民や医療・介護関係者からの相談対応、多職種連携として在宅医療研修会、地域住民を対象にした講演会の開催や ICT を利用した「バイタルリンク」の稼働などの事業が軌道に乗って参りました。「ICF ステージング」を用いての生活機能評価ができるように項目追加し、引き続き有効活用を目指して取り組んでいきたいと思ひます。

災害医療に関しては津市の「大規模災害発生時の医療救護マニュアル」に則って備蓄医薬品の準備や医療救護所における業務内容がほぼ確立しております。また、発災時のマンパワーが重要になることから当医師会では、災害メーリングリストを立ち上げ登録者を募集中であります。今後は「津地区医師会大災害必携」とした簡単なガイドブックを担当理事中心に協議を重ね発行できればと考えています。

津市の救急体制について、一次救急については小児科医の減少により、三重大学や三重病院の勤務医の力をお借りして、何とか運営できているのが現状です。インフルエンザ流行時の年末年始の医療提供体制にも課題が見えた年でありました。二次救急については、輪番病院の先生方に大変お世話になっておりますが、「医師の働き方改革」の問題も絡み、疲弊があることも承知致しておりますが津市救急のために引き続きご協力をお願い致します。将来は、救急に特化した ER のような救急専門部門を育てることも課題です。

健診事業については、胃がん検診二重読影方式の推進を図り、紆余曲折はありましたが、令和元年度より事業として開始できるところまで漕ぎつけました。

広報活動については「安の津医報」を毎号発刊できたこと、引き続き会長が中心となり地域医療の問題点などを医報に掲載することで津市行政機関との良好なコミュニケーションを図ることができ、多種多様な問題点の解決や情報共有に役立ってきました。

看護学校に関しては、山崎順彦先生が平成 26 年 4 月～平成 31 年 3 月末までの 5 年間に亘り、三重看護専門学校校長を務めて頂きました。誠にありがとうございました。

当医師会は、市民が健やかな生活を送ることができるよう、生涯にわたり手助けを行うことで、国民皆保険を堅持しながら医療の恩恵を広く人々に還元することを目的として様々な事業を精力的に取り組んできました。

公益事業としてⅠ. 地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業 Ⅱ. 看護専門学校事業 Ⅲ. 地域包括支援センター事業 Ⅳ. 介護支援事業を執行してきました。特に、市民に向けて健康増進として市民健康広場の継続事業や質の高い医療

が実践できるような事業活動、地域医療構想調整会議とも関連した「かかりつけ医」機能構築に関係して在宅医療や地域包括ケア、介護・訪問看護事業、多職種連携を必要とする事業や広域災害訓練・医療安全対策について重きを置いて活動を行って参りました。

医師会への財政支援が厳しくなる中、これらの事業を滞りなく達成できましたことは、会員各位のご理解・ご協力の賜物であることともに、日本医師会や三重県医師会との連携は勿論のこと、久居一志地区医師会・三重大学医師会・津歯科医師会・津薬剤師会・三重県看護協会そして津市行政機関との密接な関係を築くことができたからであります。

最後に平成 30 年度事業報告にあたり会員各位はじめ関連団体、事務室関係者皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

I 地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業

住民の健康を通して地域社会の健全な発展を進めるため、医師の研鑽により医学水準の向上を図る医学教育、住民の健康増進に直接かかわる健康啓発・広報、健（検）診、予防接種、母子保健、学校保健、救急医療対策、介護保険制度円滑化対策、地域連携対策、災害対策、医療安全対策、産業保健の他、住民の健康を守る対策等を協議する医療関係団体等連絡調整など様々な事業を実施いたしました。

(各事業の概要)

(1) 医学教育事業

質の高い医療を提供し、住民の健康増進に寄与するため日頃から医師の自己研鑽が必要である。そのため、最新の知識と技術を学ぶ場として、また、住民の健康保持・増進を図るための専門知識と技能を整理する場として日本医師会生涯教育制度を活用し、医学研修会・講演会・症例検討会を開催いたしました。

なお、久居一志地区医師会とは密接に連携し、医学研修会等を共催するとともに、三重大学医学部の各専門教室と共催して医師だけでなく医療関係者を対象になるべく多くの受講機会と各専門分野にわたる知識の研鑽の場を提供いたしました。

また、医療の高度化による専門分野での医学研鑽の重要性から、当医師会の内部に診療科別の医会を設けて研究活動を実施いたしました。

(2) 健康啓発・広報事業

市民を対象に、健康啓発講演会、健康相談等を実施する健康イベントを2回開催し、健康づくりに関しての普及啓発を行うとともに、毎月発行の「安の津医報」やホームページにより市民及び関係機関に対し当医師会事業等の情報を提供いたしました。

(3) 健（検）診事業

津市から特定健康診査、後期高齢者健康診査、介護予防診査、各種がん検診等に係る事業を受託し、会員医療機関で検診等を実施いたしました。

また、その健（検）診事業を安全に実施するための説明会や講習会を開催いたしました。

(4) 予防接種事業

津市から「予防接種法」に基づく定期予防接種の事業を受託し、感染防止の対策を図るとともに予防接種事業を行う医療機関に対し安全で確実な予防接種を行うための研修を実施いたしました。最近、特に重点をおいていることは、医療事故のないよう啓発しているところです。

(5) 母子保健事業

津市が行う「母子保健法」に基づく1歳6か月及び3歳児健康診査の実施の際に小児科医師を派遣し、適切な指導・助言を行うとともに、乳幼児に係る様々な課題を検討するため行政と定期的に検討会・勉強会を実施いたしました。

また、津市からの委託により行っている出産前後の妊婦に対する「すこやか相談」（医療機関内での面接相談）の実施にあたり、協力機関等との調整を行いました。

(6) 学校保健事業

津市教育委員会及び三重県教育委員会等からの要請により、保育所・幼稚園、小・中学校及び高等学校に医師（小児・内科・眼科・耳鼻科）を派遣し、児童生徒に対し日常の健康指導を行うとともに、学校職員の健康指導も行いました。さらに、校医・園医等の資質向上のための研修会を開催し、学校保健の向上に努めました。

また、児童生徒の健康管理の徹底を図るため、津市教育委員会と委託契約を締結し、小学1・4年生及び中学1年生を対象に心臓検診を行いました。

今年度は一部の中学校の校区に属する小学校の就学時健診を一堂にサオリーナに集めて一日で行いました。良い結果が得られたので次年度は全小学校就学時健診をサオリーナで2日間に分けて行う予定です。医師の負担も軽減されます。

(7) 救急医療対策事業

ア) 一次救急対策

平成29年4月1日より津市応急クリニック（西丸之内550）が開設され、常勤看護師3名を配置し診療が開始されました。今年度も住民の安心で安全な健康保持に寄与するため津市と委託契約を締結するとともに久居一志地区医師会と合同で一次救急医療を担います。

大里の津市子供応急クリニック・休日デンタルクリニックを小児科専門とし、津市久居休日応急診療所と津市応急クリニックを内科専門とし診療を行いました。また津市応急クリニックに軽度外傷処置が行える体制を整備しています。

各診療所に医師を派遣するため、久居一志地区医師会と連携して当番医及び担当日

の設定調整をしました。

年末・年始（12月31日、1月1日、2日、3日）は、津市応急クリニックにて診療を行っています。

近年、小児科医の減少に伴い三重病院と大学の小児科医にかなりの応援をしていただき、何とか休日診療所の運営が成り立っているのが現状です。

イ) 二次救急対策

救急医療対策は喫緊の課題となっており、市内の二次救急輪番病院（永井病院、遠山病院、武内病院、吉田クリニック、大門病院、津生協病院、榊原温泉病院、岩崎病院、三重中央医療センターの9病院）と三重大学附属病院、三重病院、当医師会・久居一志地区医師会及び津市、三重県を構成メンバーとする二次救急対策協議会を設置し、救急医療対策の推進に努めました。

特に、二次輪番病院の勤務医の疲弊が進み、救急医療に支障をきたしていることから大学病院からの医師派遣を調整するとともに、会員である開業医師による二次輪番病院への派遣協力体制の整備も行いました。

ウ) 救急医療機関活動

救急医療対策を少しでも充実させるため、救急病院・救急診療所として告示した医療機関（国立、公立、公的病院を除く）に対して救急隊により搬送される傷病対応にかかる経費の一部を助成いたしました。

(8) 介護保険制度円滑化対策事業

津市の要請を受け、介護保険認定審査会の委員に会員が就任するとともに、主治医意見書作成にかかる研修会を実施し、介護保険制度の円滑な運営支援を行いました。さらに、行政、介護事業者及び医師会のメンバーからなる介護保険事業推進懇談会に参加し、介護保険制度の課題について検討を行いました。

(9) 地域連携対策事業

高度化、専門化している今日の医療現場において、医療機関相互の役割に応じた連携がますます必要となっており、特に病院と各診療所との連携は重要であります。その一つとして、平成3年12月に小児分野で県下唯一の小児専門二次救急病院である三重病院と津地区医師会所属の診療機関で「津地区医師会オープンシステム」を立ち上げ、診療所医師と三重病院担当医師が協力して診療に当たるシステムの構築を図りました。

また、地域包括ケア委員会では在宅医療・介護の地域連携の実現に向けて、津市在宅療養支援センターの事業を久居一志地区医師会と共に率先することで取り組んできました。

(10) 災害対策事業

当医師会は、津市地域防災計画の救護班としての役割を担っており、津市総合防災訓練への参画や津市消防本部との意見交換を重ねておりますが、平成23年3月

に発生した東日本大地震の教訓を踏まえ、平成24年度から当医師会内に大規模災害救護医療に関する対策委員会を立ち上げ、行政との一層の連携の下、大規模災害時における市民の生命の安全を確保するための対策を推進するために、災害時における救急医療体制の見直しの検討を進めました。

(1 1) 医療安全対策事業

医療事故は医療機関の大小にかかわらず発生していますが、主にその対策は大病院を中心に取り組みられてきたため、平成22年度から久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会、県看護協会と合同で対策委員会を設置して最新の知識を有している講師を招聘し、合同医療安全研修会を開催し中小の医療機関の医療安全の推進に努めてまいりました。

(1 2) 産業保健事業

「産業保健活動支援事業」により、従業員50名未満の小規模事業所の従業員の健康保持を担う地域産業保健センター事業（特定健康相談、長時間労働・高ストレス面接指導、事業所訪問指導、事業所訪問（コーディネーター））を推進しました。また、産業医に対して、三重県産業保健研修会の受講を薦め、その資質向上を図り地域労働者の健康保持の増進に努めました。

(1 3) 医療関係団体等連絡調整事業

日本医師会及び三重県医師会との連携、ならびに県内郡市医師会との情報交換を通じ、住民の健康を守るため、特に、久居一志地区医師会とは津市2医師会連絡協議会を組織し、密接に連携して津市の保健事業の推進に参画するとともに、津歯科医師会、津薬剤師会及び久居一志地区医師会と共同で津市との政策懇談会を開き、市の健康福祉対策についての提言に対する意見交換を行いました。

なお、「地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業」のそれぞれの主な実績状況は次のとおりです。

平成30年度地域の保健・福祉の向上による促進を図る事業の主な実績

(1) 医学教育事業

① 医学研修の充実と日本医師会生涯教育制度実践の強化

- ・医学研修会等を139回開催〔主催・共催—93回、後援—46回〕
- ・久居一志地区医師会と合同で臨床集談会の開催（H30.10.4）

参加者：35名（うち会員20名）

② 県医師会主催の産業医研修会への参加〔開催回数：3回〕

第1回産業医スキルアップ実施研修（H30.11.15）参加者155名（津会員21名）

第2回産業医スキルアップ実施研修（H31.2.21）参加者32名（津会員5名）

第3回産業医スキルアップ実施研修（H31.3.7）参加者36名（津会員3名）

③ 会員の資質の向上と会の活性化を図るため、各科医会及び班別に研修会及び情報交換会を開催

- ・各科医会（9科）：整形外科、産婦人科、小児科、皮膚科、外科、耳鼻科、泌尿器科、眼科、内科
- ・各班別（6班）：医師会内の地域を6地区に分けて班を構成

（2）健康啓発・広報事業

① 市民健康広場（健康イベント）の開催状況

・第34回（こども部会）

開催日：H30.7.1 参加人数：140名

内容：「おじいちゃんとおばあちゃんが孫と一緒に遊ぶふれあい広場」

ソフリエみえによる子育て応援&工作体験、

医療相談会（小児科1名・皮膚科1名・整形外科1名）

・第35回（おとな部会）

開催日：H30.10.28 参加人数：101名

内容：講演会〔演題－「腎臓の話」

骨密度測定〔93名参加〕、在宅相談〔1名〕

体脂肪測定、介護用品展示及び介護相談コーナーを設置

・市民健康広場の開催に当たり、各報道機関、公共機関へチラシ等を配布

② 市民健康広場の開催に伴う部会の開催

・市民健康広場（こども部会） 開催日：H30.4.3

・市民健康広場（おとな部会） 開催日：H30.10.15 ・H30.12.14

③ 市民及び関係機関に関し、当医師会事業等の情報提供の状況

・当医師会の機関誌「安の津医報」を毎月発行

・当医師会のインターネットホームページを開設し、毎月更新

医療機関紹介掲載：平成31年3月現在170件

（検索方法－50音順、小学校区分、診療科目）

・各会員の近況報告、情報交換などを目的にした医療情報ネットワークの開設

（3）健（検）診事業

① 検診に関係する下記の説明会に出席

・津市各種がん検診実施要領説明会（H30.6.19）

・特定健診特定保健指導実施要領説明会（H30.6.19）

・津市国民健康保険特定保健指導（動機づけ支援）説明会（H30.8.1）

② 平成30年度の健診業務に向けて、津市2医師会連絡協議会の成人保健事業担当部会への出席

〔津市及び久居一志地区医師会との合同会議〕

・成人部会ワーキング ・・H30.5.8、H30.9.26、H31.1.25

・胃がん検診ワーキング・・H30.4.25、H30.8.29、H30.10.3、H30.12.25、H31.2.13、

H31.3.13

開催場所：津市役所

- ③ 特定健康診査、長寿医療健康診査、健康増進法健康診査及びがん検診を実施
〔がん検診の種類〕
胃がん（内視鏡、X線）、大腸がん、前立腺がん、肺がん（喀痰、X線）、
乳がん（マンモ、エコー）、子宮がん（頸部、頸部＋体部）、肝炎ウイルス検査
〔乳がん及び肺がんX線の健診数〕
・肺がん—22,360件 ・乳がん—5,452件
- ④ 肺がん検診読影会の開催状況等
・読影会の開催数：延べ14回
（8月～12月の間毎月2回開催、H31.1～3月・H31.4の間毎月1回開催）
・講師人数：毎回、三重大学医学部附属病院の講師4名を招聘
〔検診受診者増加のため8月～12月は2グループに分けて実施
（H31.1月～3月・H31.4は1グループにて実施）〕
・読影に関して、デジタルデータ4台での二重読影と肺がんシャウカステン
4台との同時読影
- ⑤ 乳がん検診読影会の開催状況等
・乳がん研修会の開催（H30.6.12） 出席者：31名（うち会員28名）
・読影会の開催数：延べ9回（H30.8月～H31.3月・H31.4の間毎月1回開催）
・講師人数：毎回、三重大学医学部附属病院の講師2名を招聘
- ⑥ 津市健康相談への医師派遣・協力状況
・津市健康づくり推進懇話会へ担当理事等が出席（開催は随時）
・女性のための健康相談会へ担当理事が出席（開催は随時）
・こころの健康相談への出席（開催は随時）
・食生活改善推進員支援研修会（開催は随時）

（4）予防接種事業

- ① 予防接種協力医研修会の開催〔H31.2.26：出席者70名（うち会員64名）〕
② 津市2医師会連絡協議会の予防接種部会への出席（H30.5.28）
③ 予防接種説明会（H30.7.24、30（午後））
④ 予防接種担当部会（H30.5.28、H30.9.3）
⑤ 予防接種担当部会ワーキング（H31.2.22）

（5）母子保健事業

- ① 乳幼児健診部会・事例検討部会の開催（第1木曜日で5回開催）
② 津市1歳6ヶ月児健診の実施状況
・津市中央保健センター：医師2名 2回/月 6回 1回/月 4回
・久居保健センター：医師2名 年間18回（津3名・11回）
③ 津市3歳児健診の実施状況
・津市中央保健センター：医師2名 2回/月 10回 1回/月 2回
・久居保健センター：医師2名 年間18回 （津3名・11回）
④ 津市3歳児耳鼻科健診の実施状況

- ・津市中央保健センター：医師1名 2回/月 22回
(自宅アンケート確認含む)

⑤ 津市3歳児眼科健診の実施状況

- ・津市中央保健センター：医師1名 1回/月 12回

⑥ 母子保健事業担当部会 H30.10.17

⑦ 昨年度に引き続き、熱田小児科クリニック内に津病児デイケアルーム「ひまわり」

- ・津市児童虐待防止等ネットワーク代表者会議 (H30.7.12)
- ・学校保健委員会 (H30.7.31)
- ・5歳児健診等にかかる検討会 (H30.4.24、H31.1.7)

(6) 学校保健事業

① 津市内の児童生徒及び学校職員に対しての健康指導の実施状況

- ・学校の派遣数＝小学校(32校)、中学校(13校)、その他幼稚園(24校)
- ・医師の派遣人数＝小児内科(41名)、眼科(13名)、耳鼻科(14名)

・津市社会福祉事業団評議員会

② 津市内の児童生徒

(対象：小学校1・4学年・中学校の1学年)の心臓検診の状況

- ・受診人数＝小学校－3,261名、中学校－1,474名 合計－4,735名

- ・心電図判読の結果、有所見者数

小学校－66名、中学校－39名 合計－105名

- ・心電図判読委員会に出席した医師人数 16名

[判読委員会の開催＝H30.5.7、H30.5.21の2回実施]

- ・有所見者がいる学校の養護教諭に対する心電図説明会を実施 (H30.6.11)

[津市教育委員会は、有所見者が該当する学校長に対して、
「心電図検査所見者経過調査報告書」を作成し発送]

③ 学校医及び会員を対象に津地区学校保健研修会を開催

開催日＝H31.2.19 場所＝当医師会館講堂

「色覚の話」

参加人数＝46名(内、会員44名)

④ 学校保健安全研究大会 担当理事出席 (H30.11.15)

⑤ 全国学校保健推進委員会 (H30.11.13)

(7) 救急医療対策事業

① 津地域・久居メディカルコントロール協議会(H30.4.16)

② 津市応急診療所の運営に関わる情報交換会(H30.6.15、H30.11.9、H31.2.18)

③ 津市応急診療所における救急患者受け入れ可能医療機関のアンケート実施

④ 津市夜間応急診療所の医師派遣状況

- ・津市応急クリニック(西丸之内550)

当会員協力医師数 64名 久居一志地区医師会 22名 非会員計3名

- ・津市こども応急クリニック・休日デンタルクリニック(大里窪田町)

当会員協力医師数 11名 (他に久居一志地区医師会及び三重大学附属病院並びに三重病院の医師も協力) 津市歯科医師会医師

- ⑤ 津市応急診療所における休日(昼間)の診療
 - ・津市応急クリニック(西丸之内550)
当会員協力医師数 62名 非会員2名
 - ・津市久居休日応急診療所(久居本町)
久居一志地区医師 20名 当会員協力医 5名
- ⑥ 5月連休・盆・年末年始の診療
昼、夜津市応急クリニック及び津市こども応急クリニック・休日デンタルクリニックにて診療。
 - ・耳鼻科医会員独自で在宅当番協力
- ⑦ 二次救急関係
 - ・二次救急医療体制協議委員会(輪番9病院代表者会議)への出席
開催日(2回): H30.12.19、H31.2.20
構成団体: 三重大学医学部附属病院、津地区医師会、久居一志地区医師会
 - ・永井・遠山・武内・岩崎・吉田・津生協・大門の7病院及び久居一志地区医師会の2病院の協力より、休日及び平日夜間の病院群輪番制にて二次救急を実施
 - ・津市消防との意見交換会(H30.7.18)
- (8) 介護保険制度円滑化対策事業
 - ① 津安芸介護認定審査会委員は昨年度に引き続き、津市の被保険者の要介護認定、要支援認定当に係る審査及び判定等を実施
[委員の人数-当会員48名、任期-平成30~31年度の2年間]
 - ② 市主催の津市介護保険事業関係者懇談会に参加し、主治医意見書に関する改定・注意点等を学び、後日、当医会で研修会を開催
 - ③ 主治医意見書に関する研修会の開催(H31.3.19 参加者-46名)
「主治医意見書の手引きにより説明」(うち会員 29名)
 - ④ 平成30年度介護認定審査会委員新任研修会(H31.3.24)
 - ⑤ 平成30年度介護認定審査会委員現任研修会(H30.10.20)
 - ⑥ 介護保険事業等検討委員会及び担当部会ワーキング会議(H30.11.6)
 - ⑦ 介護提供体制部会(H31.2.27)
- (9) 地域連携対策事業
 - ① 病診連携医学研修会への参加
構成医療機関: 遠山病院、永井病院、武内病院、岩崎病院、津生協病院、三重病院
 - ② 久居一志地区医師会と津地区脳卒中地域連携協議会を開催(開催随時)
 - ③ 在宅医療の充実・連携を図るための下記の委員会・研修会等の開催
 - ・在宅医療委員会の開催・在宅医療研修会の開催
(医療側から進める在宅医療普及啓発事業)
 - ・バイタルリンク新システム概要(インストール方法)説明会
(H30.9.12(津)、H30.9.6(久居))

- ・津市内病院地域連携部署連合会議 (H31. 2. 19)
 - ・地域包括ケアシステム委員会 (H30. 12. 11)
 - ・医療介護連携情報共有システム研究会 (H30. 7. 25)
 - ・ICF ステージング研究会 (H30. 4. 5)
- (多職種連携研修会)
1. 「医療・介護の関係機関を理解しよう」 (H30. 5. 31) (参加者：160名)
 2. 「心不全のターミナルと在宅」 (H30. 7. 19) (参加者：144名)
 3. 「アドバイザーを迎えて研修」 (H30. 10. 18) (参加者：216名)
 4. 「アドバイザーを迎えて研修 事例検討会」 (H31. 2. 21) (参加者：171名)

(市民向け啓発講演会)

久居会場 9月23日

「終わり良ければすべて良し」 (参加者：113名)

～人生の最終章をあなたは どうする？～

津会場 3月2日

「もしもにそなえて こんな時どうする？」 (参加者：186名)

- ④ 在宅医療関連のアンケート調査の実施
 - ・在宅医療アンケート
 - ・事例の募集案内
- ⑤ 在宅医療・介護に関する市民向け冊子「津市在宅療養あんしんブック」の全戸配布

(10) 災害対策事業

- ① 津市が主催の下記会議に出席
 - ・津市災害医療に係る検討会議 (H30. 8. 27、H30. 10. 22、H31. 2. 5)
 - ・津市防災会議 (H30. 10. 29)
 - ・津市総合防災訓練全体会議 (H30. 7. 27)
 - ・三重県・津市総合防災訓練 (H30. 10. 28、美里グラウンド)
 - ・地域別災害医療コーディネーター研修会 (H31. 1. 21)
- ② 三重県津保健所主催の下記会議に出席
 - ・津地域災害医療対策会議 (H31. 1. 10)
- ③ その他
 - ・三重県災害・救急医療対策協議会 (H30. 2. 1)
 - ・地域別災害医療コーディネーター研修・全体会 (H30. 11. 15、H31. 1. 21)
 - ・三重県医療救護班研修 (H30. 10. 25)
 - ・大規模災害訓練 (H30. 9. 2)
 - ・津地区医師会大規模災害委員会 (H30. 10. 10)
 - ・ACLS 研修会 (H30. 12. 6)
 - ・安否確認メールの一斉送信 (H30. 10. 29)
 - ・広域搬送拠点臨時医療施設 (SCV) の設営訓練 (H31. 3. 30)

- ④ 津市シティマラソンで救急担当医師 1 名派遣 (H31. 2. 10)
開催場所：津市産業スポーツセンター
- ⑤ その他当医師会として災害発生に備え、下記のを準備
・ 県医師会からの支給された災害緊急連絡用携帯電話機を設置
電話携帯者：会長、救急担当副会長、同担当理事、事務室（事務長連絡兼用）
・ 防災無線電話（津市より貸与）
・ 半自動除細動機 1 台（医師会館エントランス設置）
・ 防災用ベスト 150 着 合計 165 着
- (1 1) 医療安全対策事業
- ① 医療安全対策委員会への参加 (H30. 10. 2)
構成団体：津地区医師会、久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会
三重県看護協会
- ② 合同医療安全研修会（1 回開催）への参加
第 14 回：H31. 1. 31 参加人数－86 名（うち会員 38 名）
- (1 2) 産業保健事業
- ① 津地域産業保健センター運営協議会 (H30. 10. 25（参加者 12 名参加）)
地域産業保健センター コーディネーター会議
産業保健研修会（産業医・産業保健機能の強化などのストレスチェックへの対応）
(H31. 1. 21)
三重県医師会産業医委員会
- ② 津地域産業保健センター相談窓口の相談状況
・ 特定健康相談（サテライト） 455 件
・ 長時間労働・高ストレス面談指導（サテライト） 42 件
・ 個別訪問による産業保健指導 64 件
- ③ コーディネーターによる事業場訪問件数 109 件
・ 産業医アンケート実施
- (1 3) 医療関係団体等連絡調整事業
- ① 津市との連携強化を図るため、下記の会議等に出席
・ 津市長と三師会との懇話会
開催日：H30. 11. 1 参加人数－61 名（うち会員 12 名）
三師会構成団体：津地区医師会、久居一志地区医師会、津歯科医師会、
津薬剤師会
- (1 4) その他
- ① 全国高等学校総合体育大会津市実行委員会 (H30. 4. 16)
- ② 三重県警察医研修会 (H30. 7. 29)
- ③ 国民体育大会津市準備委員会 常任委員会・総会 (H30. H30. 8. 24)
- ④ 津市国民健康保険運営協議会 (H30. 9. 6)
- ⑤ 津市福祉事務所老人ホーム入所判定委員会
- ⑥ 津地域感染症等危機管理ネットワーク会議

- ⑦ 津市成年後見サポートセンター運営委員会 (H30. 1. 24、H30. 4. 26)
- ⑧ 津市献血推進委員会 (H30. 8. 9)
- ⑨ 医療窓口無料化説明会 (H30. 5. 30)

Ⅱ 看護専門学校事業

看護を取り巻く環境は、近年の少子高齢化において、人々の健康に対するニーズや価値観の多様化・個別化する一方、医療の高度化・専門化・疾病構造などの変化が著しい中、それらに適切に対応できる質の高い看護師を養成し、地域の医療・保健・福祉の向上に寄与することを目的に事業を実施致しました。

〔事業の概要〕

全国的にも社会問題となっている看護師不足の現状を踏まえ、豊かな人間性あふれる専門職業人として、生涯にわたり自己研磨できる能力を備えるとともに、「和顔愛語（わけんあいご）」の精神をもって看護を実践できる看護師を育成してまいりました。

※ 和顔愛語とは、仏教用語で一般的に解釈すれば「優しい顔つきと温かい言葉」だが、本来この言葉は、単に顔つきと言葉遣いについて言っているものではなく、「何ものをも受け入れる寛容のこころと慈悲の愛にあふれた暖かい言葉（こころ）」、つまり、人は「利他のこころ」を備えるべきであることを表した言葉で、本校ではこの精神を全カリキュラムのなかに取り入れている。

※ 教育目標

- 1) 生命の尊厳・人格の尊重を基盤とした人間理解と病気や苦難の体験の意味を考えることのできる能力を養います。
- 2) 看護に必要な専門的知識、技術、態度を学び、応用できる能力を養います。
- 3) 地域に密着し、住民のニーズ、社会の変化に対応しうる看護師の育成をします。
- 4) 豊かな感性を育み、自己成長のために自己研磨できる看護師を育成します。

なお、平成 30 年度卒業生の就職状況は次のとおりでした。

卒 業 生 35 名 (内訳)	1. 津市内医療機関	22 名
	2. 津市以外の県内医療機関	12 名
	3. 進学	1 名

また、平成 30 年度の運営業務報告は次のとおりでした。

平成30年度三重看護専門学校運営事業の主な実績

【学校年間行事等】

- 第15回三重看護専門学校入学式 (H30. 4. 5)
第15期生 44名入学 (男子5名、女子39名)
- 新入生ガイダンス (H30. 4. 6)
- 前期授業始 (H30. 4. 9)
- 領域別実習始 (3年生) (H30. 4. 9)
- 新入生歓迎会 (H30. 4. 11)
- 定期健康診断 (1年生・3年生) (H30. 4. 11)
- 奨学金説明会 (日本学生支援機構・三重県看護師等修学資金) (H30. 4. 25)
1年生 5名参加
- 防災(避難)訓練の実施 (H30. 4. 26)
地震(津波)を想定して偕楽公園へ徒歩にて避難 (1年生)
- 津地区医療機関就職説明会 (H30. 5. 10)
7医療機関 1年生及び2年生 39名出席
- クリニック体験学習 (H30. 5. 16)
19医療機関 1年生 44名参加
- 日本学生支援機構採用時(高校予約)説明会 (H30. 5. 25)
1年生 9名参加
- 日本学生支援機構採用時(高校予約)説明会 (H30. 5. 28)
1年生 1名参加
- 精神看護学概論「こころの健康」研修 (H30. 5. 31)
1年生 44名参加 伊賀
- 日本学生支援機構 採用時説明会 (H30. 6. 27)
- 災害看護と国際看護 研修旅行 (H30. 7. 24)
2年生 40名参加 神戸市「人と防災未来センター」他
- 防犯教育・防火訓練の実施 (H30. 7. 26) (1年生)
- 第1回オープンキャンパス開催 (H30. 7. 28)
来場者数 138名
- 夏季休業 (H30. 8. 1~H30. 8. 31)
- 鈴鹿厚生病院夏祭 (H30. 8. 9)
1年生 5名、3年生 6名参加
- 第2回オープンキャンパス (H30. 8. 25)
来場者数 101名
- 基礎看護学実習 I-1 (H30. 9. 27)
- 領域別実習終了 (3年生) (H30. 9. 28)

- 前期授業終 (H30. 9. 28)
- 後期授業始 (H30. 10. 1)
- 三重病院ふれあいまつり参加 (H30. 10. 3)
- 看護の統合実習 (H30. 10. 4～19)
- 定期健康診断 (2年生) (H30. 10. 4)
- 基礎看護学実習 I -2 (H30. 10. 19～10. 26)
- 鈴鹿厚生病院祭 (H30. 10. 20)
 - (1年生 6名、3年生 6名参加)
- 基礎看護学実習 II (H30. 10. 29～11. 16)
- 日本学支援機構返還説明会 (H30. 10. 29)
 - 3年生 9名参加
- 避難訓練 (H30. 11. 27)
 - 全学生参加
- 日本学生支援機構継続願提出説明会 (H30. 12. 5)
 - 1年生・2年生参加
- クリスマス会 (3年生) (H30. 12. 21)
- 冬季休業 (H30. 12. 25～H31. 1. 7)
- 領域別実習始 (2年生) (H31. 1. 7～3. 8)
- 看護師国家試験壮行会 (H31. 2. 6)
- 第108回看護師国家試験 (H31. 2. 17)
 - 卒業予定者 35名受験
- 実習・国家試験を語る会 (3年生・2年生) (H31. 2. 20)
- 第3回同窓会総会 (H31. 2. 28)
- 同窓会説明 (3年生) (H31. 2. 28)
- 第13回卒業式 (H31. 3. 7)
 - 卒業生 35名 (男子2名、女子33名) 卒業生謝恩会 (津都ホテル)
- 実習室備品点検 (H31. 3. 19)
- 図書 (蔵書) 点検 (H31. 3. 19～3. 22)
- 後期授業終 (H31. 3. 22)
- 春季休業 (H31. 3. 25～4. 7)
- 第108回看護師国家試験合格発表 (H31. 3. 22)
 - 卒業生 34名 合格
- 山崎 順彦 学校長退任 (H31. 3. 31)

【第16期生 平成31年度学生募集】

- 平成31年度学生募集要項出来上がる (H30. 4. 23)
- 業者主催の進学相談会に参加
(H30. 4. 19、4. 26、6. 6、6. 11、6. 12、6. 13)
- 三重県看護協会主催「みえ看護フェスタ 2018」参加 (H30. 5. 12)
- 津地区医師会各医療機関へ学生募集要項・ポスター送付 (H30. 5. 15)
- 三重県下高校 46校に学生募集要項・ポスターを送付 (H30. 5. 31)
- 第1回高校訪問 (H30. 5. 31～6. 29)
三重県内公立・私立高等学校 29校を訪問
- 推薦・社会人入学試験願書受付 (H30. 10. 5～12)
出願者 推薦・社会人入学 54名
- 推薦・社会人入学試験実施 (H30. 10. 24)
受験者 推薦・社会人入学 54名
- 推薦・社会人入学試験合格発表 (H30. 11. 5)
合格者 推薦・社会人入学 32名
- 一般入学試験願書受付 (H30. 11. 6～16)
出願者 一般入学試験 54名
- 一般入学試験実施 (H30. 11. 26)
受験者 一般入学試験 52名
- 一般入学試験合格発表 (H30. 12. 3)
合格者 一般入学試験 10名
- 入学説明会 (H31. 3. 28)
入学予定者 (16期生 42名)

【諸会議等】

- 運営会議 8回開催 (H30. 5. 29、7. 25、9. 26、11. 28、12. 20、H31. 1. 30、
2. 27、3. 27)
- 教務会議 18回開催 (月2回程度開催)
- 職員会議 1回開催 (H30. 4. 3)
- 自己点検・評価委員会 1回開催 (H31. 3. 26)
- 入学試験委員会 4回開催 (H30. 9. 26、10. 31、11. 28、H31. 3. 27)
- 学生委員会 1回開催 (H31. 3. 26)
- 学債委員会 1階開催 (h31. 3. 27)

【その他主な学校業務等】

- 三重県看護学校校長会 総会 (H30. 6. 21)
- 市民健康広場への参加 (第 34 回 H30. 7. 1、第 35 回 H30. 10. 28)
教職員・学生ボランティア参加
- 三重県赤十字血液センターによる献血セミナー (1 年生) (H30. 9. 20)
- 津年金事務所による年金セミナー (3 年生) (H30. 11. 27)

Ⅲ 地域包括支援センター事業

地域包括支援センターは平成 17 年の介護保険法の改正で位置づけられ、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関で、各市町村に設置され、保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士が専門性を生かして相互連携しつつ業務に当たります。

津市では高齢福祉課の津地域包括支援センターを核とし、市内 9 地域に分けて、関係団体に委託し設置しています。津市地域包括支援センターを含め合計 10 か所設置されています。当医師会は平成 21 年 8 月から津中部北部地域包括支援センターとして委託を受け、市内の橋北・東橋内地区の高齢者に対して、心身の健康の保持並びに生活の安定を図るため事業の実施に当たってきました。

〔平成 30 年度事業の概要〕

保健師 2 名、主任介護支援専門員 1 名、社会福祉士 1 名、事務員 1 名を配置し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するため可能な限り要介護状態とならないよう相談や健康運動実施等の支援を行うとともに、要介護状態となった場合でも必要なサービスが提供されるよう介護支援専門員をはじめとする関係者の連携体制の構築を図りながら事業を進めてきました。

(1) 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防に関する知識の普及・啓発を図り、パンフレットの作成、健康講話の依頼を受けました。「包括だより」を 3 回発行し地域に回覧をしました。

橋北地区・東橋内地区のスクエアステップ教室、ダンス教室、地域の健康教室等、教室を開催しました。

(2) 総合相談支援事業

地域に住む高齢者および親族等の相談に応じ、どのような支援が必要か把握し、地域における適切なサービス、関係機関および制度の利用につなげる等の支援に取り組みました。

高齢者数が増えるに伴い、相談件数が増えたことと、介護支援専門員や地域住民へ周知されていることもあり、相談件数は増加しています。

判断能力が低下した高齢者の状況を把握し、親族等と相談し成年後見制度の利用につい

て勧めました。また、虐待の報告や相談を受け、高齢者の状況確認や擁護者に対し面談を行うなど虐待防止に努めました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるには、介護支援専門員、主治医、関係機関等の連携が重要です。そのための連携体制づくりとして、津市在宅療養支援センターや関係機関と共に在宅医療・介護連携に取り組みました。また、圏域内の居宅介護支援事業所を対象に、事例検討会を開催したり、介護支援専門員が抱える支援困難事案について後方支援を行いました。

(4) 指定介護予防支援事業

要支援者に対する介護予防サービス計画の作成とサービス提供の調整を行いました。また、居宅介護支援事業所と連携を図り介護予防サービス計画の委託を行いました。

(5) その他の事業

- 他職種協働による地域包括支援ネットワークの構築
地域ケア会議の開催
生活・介護支援サポーターのフォローアップ講座を開催
- 地域で認知症を理解し、認知症とその家族を見守る認知症サポーターの養成講座を開催しました。
講座名：認知症サポーター養成講座
- 津市内地域包括の合同行事に参加、津市内の地域包括支援センターとしての統一を図りました。
- 平成 29 年度から「津市認知症施策総合推進事業」の委託を受け、「認知症地域支援推進員」としての活動をしました。
- 職員のスキルアップのために、必要な研修に随時参加しました。

また、30 年度の地域包括支援センターの主な事業実績は下記のとおりでした。

平成 30 年度地域包括支援センター事業の主な実績

(1) 介護予防ケアマネジメント事業

【当包括主催事業】

- ダンス教室（毎月 1 回） 開催回数 12 回 参加者数 延 351 人
- スクエアステップ（3 か所で開催、合計月 4 回） 開催回数 43 回 参加者数 延 1,225 人
- 上浜公園健康教室（毎月 1 回） 開催回数 12 回 参加者数 延 41 人
- 「包括だより」発行（H29 年 6 月、10 月、H30 年 2 月）

【依頼事業】

○南立誠地区老人クラブ連合会健康教室	出席回数	4回	参加者数	延 115人
○老人クラブ健康教室（1か所より依頼）	出席回数	1回	参加者数	20人
○いきいき健康サロン（1か所より依頼）	出席回数	1回	参加者数	15人
○南立誠地区社協ふれあい給食	出席回数	5回		
○三重県聴覚障害者協会	出席回数	1回		
○南立誠地区敬老の集い	出席回数	1回		
○敬和地区社会福祉協議会	出席回数	1回		
○北立誠地区芸能大会	出席回数	1回		

(2) 総合相談支援事業

○相談件数	合計	3,692件
○虐待対応		5名

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

○津市在宅医療・介護連携の推進		
研修啓発部会	4回参加	
研修会参加	6回参加	
○担当地域内居宅会議支援事業所意見交換会	4回開催	

(4) 指定介護予防支援事業

○直営予防ケアプラン作成件数	延	389件
○委託予防ケアプラン件数	延	2,462件

(5) その他の事業

○多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築		
・地域ケア会議		
南立誠地区	4回開催	
北立誠地区	3回開催	
敬和地区	6回開催	
・生活・介護支援サポーター研修会	2回開催	
○認知症サポーター養成講座		
対象団体	株式会社ツムラ（H30年6月）	参加者 13名
	あいおい生命（H30年7月）	参加者 8名
	損保ジャパン（H30年8月）	参加者 11名
	アステラス製薬（H30年8月）	参加者 12名
	明治安田生命（H30年9月）	参加者 18名
	コープ三重宅配センター（H30年11月）	参加者 20名
	フコク生命（H31年1月）	参加者 16名
	東京海上日動（H31年2月）	参加者 17名

- 地域密着型事業所運営推進会議出席 2施設 5回
- 24時間体制携帯電話設置
- 津市内地域包括支援センター全体会議（毎月）
- 津市内地域包括・在宅介護支援センター中部エリア会議（5月・10月・2月）
- 津市内地域包括支援センター各職種専門部会（3職種各6回）
- 認知症事例相談会・世話人会（8回）
- 中勢認知症集会・世話人会（2回）
- 認知症地域支援推進員活動
 - ・認知症地域支援推進員会議（15回）
 - ・認知症カフェ参加（12回）
 - ・認知症サポーターステップアップ研修（2回）
 - ・認知症カフェ交流会（1回）
- 研修会参加

IV 介護支援事業

超高齢社会の進展により、家庭で療養する高齢者が増加し、在宅・介護のニーズや、がん末期患者のターミナルケア等の在宅療養のニーズの増加に対応するため、当医師会は平成4年に県下で初めて訪問看護ステーションを立ち上げました。

更に、平成12年に居宅介護支援事業も開始するとともに、当医師会においては、在宅医療を担う医療機関の機能強化や多職種を含めた連携の重要性から今年度より新たに在宅医療委員会を立ち上げ、増大している在宅医療に適確に対応するため、当訪問看護ステーション事業と居宅介護支援事業はその要として、大きな役割を担ってきました。

なお、在宅医療・看護を「住み慣れた地域での生活を支える」という共通の目的を達成する手段と位置付けられることから、在宅医療と看護を一つの事業として実施してきました。

〔事業の概要〕

（1）訪問看護ステーション事業

訪問看護は、介護保険の適用される高齢者や病気や障害のある人が、住み慣れた地域や家庭でその人らしく療養生活を送ることができるように、看護師が医師の指示を受け療養生活の援助・指導、褥瘡予防や処置等の医学的ケア、難病や癌患者等の終末期医療及びリハビリステーション等の看護サービスを行います。

又、地域の看護教育支援のため、三重県立看護大学、三重看護専門学校の看護実習生を受け入れ、併設の介護支援センターとともに人材育成に貢献しております。

（2）居宅介護支援事業

介護支援センターは、介護支援専門員（ケアマネージャー）が介護保険の要介護認定者に対して自宅において必要な居宅サービスを適切に利用できるように心身の状況等を勘案し

て「居宅サービス計画（ケアプラン）」を作成しその計画に従ったサービスが提供されるように「サービス担当者会議」の開催など事業者等との連絡調整を行っています。

なお、当医師会の運営であることや介護支援専門員が保健師の資格を有していることなどから、医療依存度の高い相談が寄せられることが多く常に利用者の立場に立ち、公正かつ誠実に対応し、医療機関等と綿密に連携して居宅サービス計画し作成をしています。

また、公益財団法人介護労働安定センターが行う介護職員基礎研修会等に介護支援専門員を講師として派遣するなど、介護に係る人材育成に寄与するとともに、当医師会訪問看護ステーションと同様に看護学校の実習生の受け入れを行い看護師の養成にも貢献しております。

平成 30 年度介護支援センター事業の主な実績

(研修会等の出席状況)

- 5 月 28 日 地域ケア会議 津地区医師会館 1F 会議室
- 6 月 12 日 居宅介護支援事業所研修会 河芸中央公民館
- 7 月 13 日 交通安全講習会「事故発生時の対応について」津地区医師会館 2F 会議室
- 8 月 21 日 平成 30 年度介護保険サービス事業所等集団指導 美里文化センター
- 9 月 14 日 三重県認定調査員現任研修 三重県総合文化センター
- 9 月 19 日 介護支援専門員意見交換会「医療連携について」津地区医師会 1F 会議室
- 10 月 18 日 第 3 回多職種連携研修会「地域ケア時代」
～生活に戻すための多職種連携～ 三重県総合文化センター
- 10 月 25 日 平成 30 年度第 1 回三重県医療救護班研修 津庁舎 6F
- 11 月 19 日 地域ケア会議 津地区医師会館 1F 会議室
- 2 月 20 日 津中部北地域包括支援センター 第 4 回意見交換会
「事例検討」津地区医師会館 1F 会議室
- 2 月 28 日 三重県地域権利擁護支援研修「虐待について」県庁 1F 講堂

(運営状況)

職員	介護支援専門員	3 名	(保健師	1 名	介護福祉士	2 名)
	要介護プラン	7 6 2 件					
	要支援プラン	8 9 件					
	認定調査 (外部委託)	1 2 件					
	サービス担当者会議	1 0 1 件					
	退院時カンファレンス	1 6 件					
	リハビリ会議	3 件					
	医療連携	5 7 件					

平成 30 年度訪問看護ステーション事業の主な実績

(会議)

- 毎月担当理事に事業実績報告
- 月例ステーション会議（毎月第 2 金曜日開催 その他随時）
- 三重県立看護大学実習打ち合わせ会議 8/3 小林
- 三重県訪問看護ステーション津地区管理者会議
4/19 5/17 6/21 7/19 9/20 10/18 11/15 12/20 1/17 2/21 3/28 小林

(研修会)

- 平成 30 年度三重県訪問看護ステーション連絡協議会中央研修
「魅力ある訪問看護師になるために」 6/3 小林・稲葉・奥井
- 平成 30 年度訪問看護ステーション連絡協議会中央研修
「いやしのケア ハンド&ショルダー」 10/28 小林・奥井
- 平成 30 年度三重県訪問看護ステーション連絡協議会中央研修
「訪問看護ステーションにおける災害対策」 3/10 小林・稲葉・飯田・奥井・森末
- 訪問看護連絡協議会 地区研修
「在宅での褥瘡の対応について」 7/7 小林・稲葉・奥井
- 平成 30 年度四職能合同交流集会
「地域包括ケアの看護職連携」 7/22 小林
- 平成 30 年度施設代表者会議 2/3 小林
- 平成 30 年度訪問看護人材確保事業中勢ブロック研修会
「災害への備えと発災対応」 11/25 小林・奥井
- 平成 30 年度三重県小児在宅研究会
「コミュニケーション」 6/10 小林・奥井
- 平成 30 年度三重県小児在宅看護実技研修会
「子どもの呼吸管理と経管栄養管理」 12/2 小林・稲葉・奥井
- 平成 30 年度神経・筋難病医療福祉従事者研修会 2/21 稲葉
- ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム 11/23、24 小林
- 未就学児の子ども医療費窓口無料化及び
精神障害者保健福祉手帳 2 級所持者の通院医療費助成事業説明会 6/26 小林・柏原
- 平成 30 年度こころの県民公開講座
「身近なうつ病を理解しよう」 小林
- 地域包括ケア推進講演会 3/2 小林
- 成年後見制度講演会 3/16 小林
- 多職種連携研修会 7/19 10/18 2/21 小林
- 平成 30 年度三重県医療救護班研修 10/25 小林
- 津市障がい者計画相談支援事業所連絡協議会
「地域の暮らしに戻るために」 10/30 奥井

- 看護学校、看護大学実習生受け入れ
 三重看護専門学校 5月～7月
 三重県立看護大学 11月～1月

(その他)

- 4月～訪問看護 24時間対応体制取り下げ
- 職員 健康診断 5月～11月で実施
- 職員 インフルエンザ予防接種 タミフル配布

《運営状況》

職員 (管理者1名 看護師4名 事務1名)
 利用者数 延べ381名 (医療85名 介護296名)
 訪問回数 延べ2614回 (医療475回 介護2139回)
 休日訪問 医療10回 介護11回
 正月盆休み 医療1回 介護2回
 担当者会議 43回
 退院調整カンファレンス 10回
 グリーフケア 3名

平成30年度 講師実績一覧【長沼理恵先生】					
	講習内容	日程	参加人数	対象者	講習場所
介護労働講習	自覚・健康管理	6月12日	43名	介護労働講習受講生	三重県勤労者福祉会館
	接遇・マナー	7月10日			
	コミュニケーション技術	9月11日 9月28日 10月15日 10月23日			
短期講習	介護現場での接遇・マナー	4月26日	40名	短期講習申込者	三重県勤労者福祉会館
ケアサポート講習	法令遵守・倫理(介護職員としての心構え)	4月26日	40名	特別養護老人ホームげいのう逢春園職員	特別養護老人ホームげいのう逢春園
	介護と医療の連携	6月19日	70名	津市老人福祉施設協会 会員	メッセウイングみえ
	スキルアップ研修 ・ご利用者の尊厳を守るケア ・法令遵守、倫理 ・チームケアの理解 ・介護職の医療行為の範囲 ・認知症の知識と対応 ・高齢者の医学、看護の知識Ⅰ ・高齢者の医学、看護の知識Ⅱ ・介護記録の書き方と報告、連絡、相談	5月16日	各40名	わたらい緑清苑 職員	わたらい緑清苑
		6月12日			
		7月18日			
		8月21日			
		9月19日			
		10月15日			
		11月15日			
		1月16日			
2月13日					
3月19日					

ケアサポーター講習	職員研修 ・介護の基本理念① ・高齢者に対する介護の基礎 ・介護と医療 ・認知症について ・嚥下機能強化、口腔ケア ・介護の基本理念②	6月20日	各30名	紀北町立立老人ホーム赤羽奈 職員	紀北町立立老人ホーム赤羽奈
		7月25日			
		9月12日			
		11月21日			
		12月12日			
		1月22日			
	介護現場での接遇・マナー	8月27日	30名	ショートステイひまわり 職員	グループホームふるさと
	身体拘束について	8月30日	40名	三重県老人福祉施設協会伊勢志摩B 会員	伊勢トピア
	介護現場での感染症予防と対策	10月16日	20名	三重県老人福祉施設協会伊勢志摩B 介護・看護部会 会員	特別養護老人ホーム賀集楽
	介護現場の記録について	10月22日	40名	ショートステイひまわり 職員	グループホームふるさと
	虐待・身体拘束の禁止	10月16日	100名	伊勢市養護老人ホーム万亀会館 職員	伊勢市養護老人ホーム万亀会館
		11月13日			
		11月20日			
	身体拘束廃止への取り組み方	12月13日	33名	津市老人福祉施設協会 相談員部会 会 員	サンワーク津
	介護事故の予防と対策	12月13日	35名	ショートステイひまわり 職員	グループホームふるさと
身体拘束防止に向けて	12月14日	35名	特別養護老人ホーム白百合園 職員	特別養護老人ホーム白百合園	
介護現場での接遇・マナー	2月25日	20名	社会福祉法人 慈恵会 職員	特別養護老人ホーム 正邦苑静乾	
介護現場での接遇・マナー	3月12日	17名	三重県老人福祉施設協会伊勢志摩B 看護・介護部会 会員	特別養護老人ホーム 賀集楽	
コミュニケーションについて	7月10日	12名	JAサポーター	JA中央会 粟葉JA研修所	

V 会館利用事業

当医師会館の一部を、産業保健センターの事務室として長期貸出をするとともに、講堂、会議室等を医療関係者が必要とする場合個別貸出をし、使用に必要な備品についても貸出をいたしました。

[主な貸出状況]

- ・年間契約による貸出状況 津地域産業保健センター
- ・個別貸出（講堂等）状況
平成30年度の貸出件数は、9件でした。
貸付料については573,700円でした。

VI 相互扶助事業

(1) 全会員に対して医師会の情報提供及び連絡調整を行いました。

[主な事業実績]

- ・毎月発行の「安の津医報」で、会員相互の情報交換の実施
- ・ホームページで、会員向けの各種事業の案内
- ・県医師会広報への協力
- ・地域別班活動の調整事業

(2) 会員の相互扶助と福祉増進に努めました。

[主な事業実績]

- ・会員及びその家族への慶弔

- ・会員及びその家族が参加し、研修旅行を実施
- ・各種クラブへの助成
- ・医師国民健康保険組合の健康診断料の一部助成